

物を活用した 献立コンクール

審査結果

審査を通過した10チームが第2次審査に臨みました。アツという間に「おいしく栄養バランスがとれた献立」を回も大いに期待ができる献立コンクールになりました。

自由献立部門

長野県産物を使用し、食育として教材化したもの

最優秀賞



東御市立
東部中学校

受賞者・喜びの声

今回最優秀賞をいただけたのは、地域の方々、生徒や先生方等、多くの皆さんの支えがあったからこそだと心から感謝しております。

今後も、さらに地場産物の活用に取り組み、生徒の目が輝く充実した給食を提供することや、日ごろからの食育の推進に力を注いでいきたいと思います。本当にありがとうございました。



「感謝の気持ちを明日の力に」

栄養教諭 大星 充子

最優秀賞の発表で「東御市立…」という声を聞いた瞬間、驚きのため宮下さんと顔を見合わせてしまいました。まさか私たちがいただけるとは思ってもありませんでしたから…。

当日、緊張感が増す中で宮下さんが発した「大丈夫。私たちに頑張りなう。」という、一言。さすが百戦錬磨の調理主任さんだと思いました。それと同時に、おいしく充実した給食を提供する為には、調理員さんが確かな技術と意欲を持ち合わせているだけでなく、給食室を「明るく元気な雰囲気」にしてくれることも大切だと改めて感じさせられました。

優秀賞

富士見町立 富士見中学校



宮田村立 宮田小学校



山形村立 山形小学校



優良賞

筑北村立 坂北小学校



喬木村学校給食共同調理場



参加者の声

- 私自身、夢にみてあこがれていた舞台に参加でき、栄養士と仲良く声をかけ合い励まされ、心を込めて作り上げた1時間でした。
- 他のチームの工夫点などを学ぶことができ、ありがたいと思うと同時に仲間のがんばる姿に良い刺激を受けました。



平成26年度 学校給食に地場産

課題献立部門

開発加工食品を使用し、食育として教材化したもの

11月23日(日)、応募者総数111チームの中から第1次
どのチームも日頃鍛えた調理技術と噛み合った連携で
完成しました。年々高い意識・技術力に磨きがかかり、次

優秀賞

飯山市中学校給食センター



優良賞

松本市東部学校給食センター



千曲市第2学校給食センター



最優秀賞



諏訪市立
諏訪西中学校

受賞者・喜びの声

「子ども達に感謝」

栄養士 中山よし子

諏訪西中の給食は、季節に合わせて
地元の旬の食材を活用することに努め
ています。今回、素敵な賞をいただきま
したが、食材を提供して下さる協力的
な生産者の皆さん、子ども達のことを思
い手のかかることが多い地元食材を受け
入れていただいている調理員さん、ゴーヤ
を育てた子ども達など、関係者全員の
大きな喜びと励みになりました。

いつも給食は、子ども達の元気な挨拶
に始まります。片づけの時は、子ども達
から「おいしかったよ。また出して…。」
「今日の給食、人生のなかで3本指には
いるぜ!」など、思い思いのユニークな感
想が伝わってきます。一方、ゴーヤカレ
ーの時には「先生ナイス」「ゴーヤ美味か
った」と言う意見も多くありました。が、
「ゴーヤの存在感が薄っ…」「食感がな
〜?」などの感想もありました。
大会当日はそれらの声を生かして、
ゴーヤの緑と食感を残す工夫をしまし
た。そうしたこともあっていただけだ賞
なので、これは子ども達にくれたプレ
ゼントだと思っています。『西中生のみな
さん、いつも元気な挨拶と感想がありが
う。これからも美味しい給食作りに頑
張るからね。』

審査員 (敬称略)

コンクール



【審査委員長】

廣田 直子

(松本大学大学院健康科学研究科 教授)

【副審査委員長】

宮下 朋子

(長野県教育委員会保健厚生課長)



【審査員】

浅輪 佳代子 (長野県PTA連合会 理事)

太田 宏 (長野県小学校長会 松本市立開智小学校長)

久保田 益美 (長野県教育委員会保健厚生課学校給食係管理栄養士)

高橋 和子 (長野県学校保健会栄養教諭・学校栄養職員部会長)

舟田 寛子 (全国学校栄養士協議会 OB会理事)

塩野崎 道子 (長野県農村生活マイスター協会)



*献立コンクールの作品レシビは、「長野県産物を活用した献立レシビ集」(3月発刊)に掲載します。